

～低塩分による仔稚魚のへい死軽減技術～

特許公開2006-288234

★この技術のポイント！



- ★魚類の生理に適合した飼育方法によって、仔稚魚のへい死軽減！
- ★薬剤に頼らない種苗生産の実現！

活用分野等

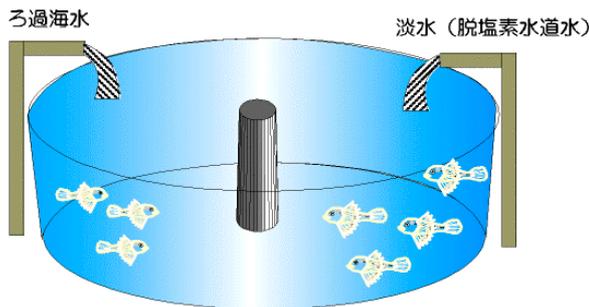
種苗生産（海水魚）

技術分野

養殖・資源【種苗生産】
危機管理【安心・安全性確保】
【養殖衛生管理】

技術概要

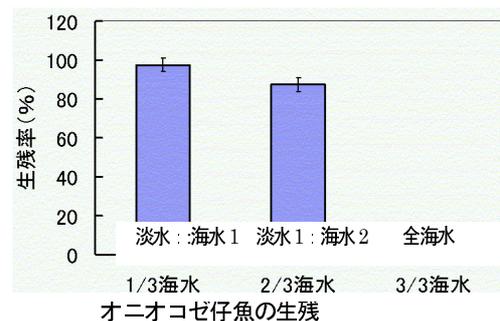
- ◆飼育水の塩分濃度を下げて飼育することにより、病気になりにくい海産仔稚魚の飼育方法を開発しました。
- ◆これまで仔稚魚がへい死した場合は、薬剤に頼っていましたが、本技術は、薬剤を使うよりも安全で環境への負荷も少なく、簡単に種苗生産の現場で活用できます。
- ◆低塩分海水で飼育することで、浸透圧調節機能の低下を補い、生理機能の維持を図ります。
- ◆魚の種類や大きさによって、塩分濃度や処理時間など飼育条件が変わってきますが、過去の知見をもとに最適な条件を提案できます。



ろ過海水を淡水で希釈して飼育

ポイント

- ・ 低塩分飼育の期間
- ・ 塩分濃度



◎通常飼育

海水の浸透圧 > 体液の浸透圧
塩類の排出に大量のエネルギーを使う。

◎低塩分飼育

海水を淡水で希釈 = 体液の浸透圧 (飼育水)

塩類排出にエネルギー不要のため

高い生残性